

# 東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2025 ジャパニーズクラフトウイスキーカテゴリーに特化した “ジャパングランプリ” 初の受賞ボトルが決定

日本唯一、アジア最大級（※）の蒸留酒の品評会『東京ウイスキー&スピリッツコンペティション』（以下：TWSC）の新部門である“ジャパングランプリ”は、ジャパニーズクラフトウイスキーのみを対象とした、TWSC2025 から始まった新しい部門です。この度ジャパングランプリ初の受賞ボトルを決定しました。

（※）自社調べ 2024年10月時点 日本で開催される「ウイスキー・スピリッツの品評会として」

## TWSC2025 ジャパングランプリ 受賞ボトル



### ・ジャパニーズクラフトウイスキー シングルモルト グランプリ

受賞ボトル名	容量	度数	出品者
イチローズモルト 清里フィールドバレイ 34 回記念ウイスキー	700ml	52%	萌木の村

### ・ジャパニーズクラフトウイスキー ニューボーン グランプリ (同率 1 位)

受賞ボトル名	容量	度数	出品者
新潟亀田ニューボーン シェリーカスクフィニッシュ	200ml	55%	新潟小規模蒸溜所
琉歌 NEWBORN 2024	700ml	58%	新里酒造

## TWSC 実行委員長 土屋守挨拶 “ジャパングランプリ”について

TWSC も今回で 7 回目を迎え、日本で唯一、アジア最大級のウイスキー・スピリッツのコンペティションとしてますます注目を集め、日本、アジア、そして世界が注目するコンペとなっています。特に近年ジャパニーズウイスキーのクラフト蒸溜所の創設が相次ぎ、2020 年には 30 か所だった蒸溜所が、現在（2024 年 9 月現在）は 110 を超える勢いとなっています。それらの多くはコロナ禍の 2020 年から 2023 年頃に誕生した蒸溜所で、日本洋酒酒造組合が定める 3 年熟成の基準をクリアしてきました。今後、そうした蒸溜所の 3 年熟成以上の新商品が続々とリリースされることが予想され、さらに蒸溜所によっては 3 年未満のニューメイク、ニューボーンをリリースするところも増えてくると考えられます。

そうした現状を踏まえ、TWSC では、今年からジャパニーズクラフトウイスキーにしばったカテゴリーを新設し、それらの製品の審査を行っていきたくと思っています。そのことで少しでもクラフト蒸溜所の製品を広く内外の一般消費者に知ってもらうことと同時に、造り手にとっての励み、一助になればとも思っています。

また前述の 3 年熟成以外に新たにニューメイク、ニューボーンウイスキーを定義し、それらもカテゴリーとして独立させることにしました。それに伴って審査方法も従来のリモート審査（一次）に加え、対面での審査も行い、その年のグランプリ賞を決めていく方針です。

## ジャパングランプリの審査方法について

TWSC2025 洋酒部門に出品された中で、ジャパングランプリ対象アイテムは 117 アイテムでした。

一次審査ではすべてのジャパングランプリ対象アイテムについて、銘柄を伏せた各アイテムを小瓶に分けて送付するリモート形式で審査を行いました。二次審査では出品数が多く、かつ一次審査で上位となったシングルモルトとニューボーン合計 28 アイテムがノミネートされ、実行委員会が選抜したジャパングランプリ特別審査員によってリモート審査を実施。三次審査ではジャパングランプリ特別審査員が一堂に介し対面による審査会を実施し、二次審査で上位となったシングルモルト 8 種、ニューボーン 5 種をテイastingしながら、一人一人コメントと点数を発表する形式でグランプリを決定いたしました。

TWSC2025 の洋酒部門については、本日（4 月 9 日時点）で審査中のため、二次審査終了後に最高金賞・金賞・銀賞・銅賞の発表を行います。

審査フロー	アイテム数	審査員数
一次審査（1 アイテムあたり 8 名以上が審査）	117 本	56 人
二次審査（1 アイテムあたり 22 名が審査）	28 本	22 人
三次審査（1 アイテムあたり 19 名が審査）	13 本	19 人



## TWSC2025 今後の流れについて

ジャパングランプリで受賞したアイテムは、TWSC2025 洋酒部門のジャパニーズウイスキー、ニューボーンとしても審査を行っています。TWSC2025 の洋酒部門、焼酎・泡盛部門については、二次審査終了後に最高金賞・金賞・銀賞・銅賞の発表を行います。また、8月3日（日）に授賞式と大試飲会を明治記念館（東京都港区）にて同日開催いたします。どちらも最新情報はTWSC公式HPをご覧ください。TWSC公式ページ：<http://tokyowhiskyspiritscompetition.jp/>

### 今後の流れ（予定）

4月10日（木）	ジャパングランプリ受賞結果 TWSC公式ページ公開
4月11日（金）12:00	ジャパングランプリ受賞結果 プレスリリース・PR times で公開
4月30日（水）	TWSC2025 洋酒部門、焼酎・泡盛部門の最高金・金・銀・銅賞を内示
5月9日（金）	出品者受賞結果公開可否の回答期限／授賞式出欠受付
5月12日（月）	公式発表（TWSC公式ページ・PR times・SNS等で発表します）
8月3日（日）	TWSC2025 授賞式・大試飲会開催 於 明治記念館（東京都港区）

## ジャパングランプリ 出品対象ルール

- ・1日の仕込み量が麦芽2トン以内  
（1トン仕込み2回、あるいは2トンを1回など、麦芽以外の穀物を使う場合はその総量が2トン）
- ・2025年4月末時点で発売されている（限定商品・完売商品も可）
- ・日本洋酒酒造組合が定めた、ウイスキーにおけるジャパニーズウイスキーの表示に関する基準を満たしているウイスキー
  1. 原材料…原材料は、麦芽、穀類、日本国内で採水された水に限ること。なお、麦芽は必ず使用しなければならない。

2. **製造**…糖化、発酵、蒸留は、日本国内の蒸留所で行うこと。なお、蒸留の際の留出時のアルコール分は 95 度未満とする。
3. **貯蔵**…内容量 700 リットル以下の木製樽に詰め、当該詰めた日の翌日から起算して 3 年以上日本国内において貯蔵すること。
4. **瓶詰**…日本国内において容器詰めし、充填時のアルコール分は 40 度以上であること。
5. **その他**…色調の微調整のためのカラメルの使用を認める。

#### ・ジャパニーズニューボーンスピリッツ（熟成 3 年未満）

ジャパニーズニューボーンスピリッツは「**樽熟成 3 年未満のウイスキー**」のことで、その他の条件は上記の「ウイスキーにおけるジャパニーズウイスキーの表示に関する基準」と同じです。

#### ・ジャパニーズニューメイクスピリッツ（旧名称：ニューポット）

ジャパニーズニューメイクスピリッツは「**樽熟成前、またはタンク貯蔵の無色透明のウイスキー**」のことで、その他の条件は上記の「ウイスキーにおけるジャパニーズウイスキーの表示に関する基準」と同じです。

#### カテゴリー例（受賞カテゴリーは出品数と一次審査の結果に応じて、二次審査、三次審査に進むカテゴリーを決定します）

シングルモルト・ジャパニーズ・クラフトウイスキー／シングルグレーン・ジャパニーズ・クラフトウイスキー  
ブレンデッドモルト・ジャパニーズ・クラフトウイスキー／ブレンデッド・ジャパニーズ・クラフトウイスキー  
ニューボーン・ジャパニーズ・クラフトスピリッツ／ニューメイク・ジャパニーズ・クラフトスピリッツ

### 東京ウイスキー&スピリッツコンペティション（TWSC）とは



東京ウイスキー&スピリッツコンペティション（TWSC）は、日本文化が培った繊細な味覚をもって、世界中のウイスキーおよびスピリッツの審査を行う日本で唯一の品評会です。ウイスキー評論家の土屋守が実行委員長を務める TWSC 実行委員会が主催し、品評会を通じて、国内はもとより世界中の高品質なウイスキー・スピリッツを発信していくことや、ウイスキー・スピリッツ文化の発展を担う飲み手育成などがその目的です。2019 年に開催がはじまり、2020 年からは、日本が誇る蒸留酒である焼酎・泡盛の魅力を世界の人々に知ってもらいたいという思いから、焼酎部門を新設しました。過去 6 回で洋酒部門は 3,178 本、焼酎・泡盛部門は 1,283 本の合計 4,461 本のエントリーがありました。

### ウイスキー文化研究所について

ウイスキー文化研究所は、ウイスキー評論家の土屋守が代表を務める、民間のウイスキー文化普及団体です。2001 年 3 月の発足以来、国内外のウイスキー・酒文化全般を深く学ぶべく研究を重ね、情報の収集および発信を行っています。また業界に関わる方々とともに、ウイスキー愛好家や飲み手の育成、ウイスキー文化の普及を目的とした取り組みを企画・立案、実施してきました。国内で唯一のウイスキー専門誌『Whisky Galore』の編集・発行、ウイスキーフェスティバルなどのイベントの企画・運営のほか、ウイスキーに関する知識、鑑定能力を問う資格認定制度「ウイスキーコニサー資格認定試験」や、ウイスキーを楽しむための知識を問う「ウイスキー検定」を主催しています。また、2019 年より世界のウイスキーおよびスピリッツを審査する、日本で唯一の品評会「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション（TWSC）」も運営しています。

#### 【会社概要】

社名：株式会社ウイスキー文化研究所

本社所在地：〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-10-5 テック広尾ビル 5F

代表取締役：土屋 守

事業内容：ウイスキーガロア編集発行／ウイスキーコニサー資格認定試験教本編集発行／ウイスキー関連書籍執筆、監修／ウイスキーフェスティバル企画・運営／ウイスキーコニサー資格認定試験企画・運営／ウイスキー検定運営／東京ウイスキー&スピ

## ウイスキー文化研究所代表 土屋守 プロフィール



1954年新潟県佐渡市生まれ。学習院大学文学部卒。週刊誌記者を経て1987年に渡英。取材で行ったスコットランドで初めてスコッチのシングルモルトと出会い、スコッチにのめり込む。帰国後はウイスキー評論家として活躍し、1998年にはハイランド・ディスティラーズ社より「世界のウイスキーライター5人」の1人に選ばれる。2014年9月から2015年3月に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」では、ウイスキー考証として監修を務めた。日本唯一のウイスキー専門隔月刊誌『Whisky Galore』の編集長、東京ウイスキー&スピリッツコンペティション実行委員長、ジャパニーズウイスキーの日実行委員長、2024年に発足した一般社団法人日本ウイスキー文化振興協会の代表理事を務める。主な著書・監修書に、『完全版 シングルモルトスコッチ大全』『ブレンデッドウイスキー大全』『増補新版 ウイスキー検定公式テキスト』（小学館）『竹鶴政孝とウイスキー』（東京書籍）『最新版 ウイスキー完全バイブル』『ウイスキーを楽しむ教科書』（ナツメ社）『ビジネス教養としてのウイスキー なぜ今、高級ウイスキーが2億円で売れるのか』（KADOKAWA）『ビジネスに効く教養としてのジャパニーズウイスキー』（祥伝社）『土屋守のウイスキー千夜一夜（1～5巻）』『ジャパニーズウイスキーイヤーブック（日本蒸留所年鑑）』（ウイスキー文化研究所）などがある。

---

<お問い合わせ先>

ウイスキー文化研究所 TWSC 事務局 担当：砂山芽久（すなやま・めぐ） TEL：03-6277-4103 EMAIL:twsc@scotchclub.org